

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 学校法人ムンド・デ・アレグリア学校

1 事業の趣旨・目的

外国人集住都市である浜松は母語で生活できる環境があることから、日本語が十分でない外国人が少なくない。特にブラジル人・ペルー人は独自のコミュニティがあるため、地域社会に積極的に入って共生しようという意識が薄いのも事実である。しかしながら、現在、定住化の進んでいることや東日本大震災のような災害時を考えると地域住民・地域社会との関わりが必要不可欠である。

本事業においては、単に日本語学習の機会を提供するだけでなく、文化の違いで起こりうる摩擦を少しでも軽減するために、日本の文化・習慣・マナー・常識も学ぶと共に、地域在住の日本人と交流・共同作業を行える時間を提供することで、お互いを理解し、共生できる社会作りに貢献できる事業を行うことを目的とする。

2 運営委員会の開催について

【概要】

| 開催日時 | 開催場所 | 出席者 | 議題 | 会議の概要 |
|------|-------------|--|-----------------|---|
| 6月9日 | 外国人学習支援センター | 柴崎 敏男 坂田 英夫 大軒 孝幸 佐藤 宏明 勝浦 範子 松本 雅美 岡 則子 | 事業の目的 予定講座説明 | ・今年度の事業の目的説明 ・その目的に合わせた開講予定講座の説明及び承認 |
| 2月2日 | 外国人学習支援センター | 柴崎 敏男 坂田 英夫 大軒 孝幸 佐藤 宏明 勝浦 範子 松本 雅美 岡 則子 | 事業実施報告 | ・開講した講座内容についての説明 ・講座内容に関する質疑・応答 ・今後の課題についての話し合い |

【写真】



3 日本語教室の開催について

- ① 講座名 共生のために必要な日本語講座
- ② 開催場所 学校法人ムンド・デ・アレグリア学校及び浜松市内
- 学習目標
 1. 地域住民と交流や共同作業を行うことで、お互いに異文化理解をする。
 2. 日本の文化・習慣を理解する。
 3. 日本での規則・マナーを学ぶ。
 4. 日本人と円滑なコミュニケーションを図るための日本語運用能力を学ぶ。
- ③ 使用した教材・リソース プリント、手作り教材
オリジナルプリント、オリジナルテキスト、ストーリーで覚える漢字300他
- ④ 受講者の募集方法
 - ・募集のチラシを作成し、外国人学習支援センターの掲示板に掲示
 - ・外国人が多く働く企業への訪問
 - ・外国人コミュニティを通して告知
 - ・外国人学習支援センターに来館する外国人に直接告知
- ⑤ 受講者の総数 195人
- ⑥ 出身・国籍別内訳
ブラジル 131人, ペルー 48人, パラグアイ 2人
インド 10人, インドネシア 2人, アメリカ 2人
- ⑦ 開催時間数(回数) 89時間 (全62回)
- ⑧ 日本語教室の具体的内容

| 回 | 開催日時 | 時間数 | 参加人数 | 国籍・母語(人) | 教授者・補助者人数 | 内容 |
|---|-------------------|-----|------|-----------------------|----------------|-------------------|
| 1 | 6月6日 14:50~15: | 1時間 | 154人 | ブラジル・ポルトガル語 (114人) | 指導者2名 補助者2名 | 【避難訓練】 地震発生時の避 |

| | | | | | | |
|---|---------------------|-----|------|---|----------------|---|
| | 50 | | | ペルー・スペイン語 (40人) | | 難放送が聞き取れるように、避難時の日本語の聞き取り練習を行った。また、指示に従う訓練も行った。 |
| 2 | 6月8日 13:30~15:30 | 2時間 | 21人 | ブラジル・ポルトガル語 (13人) ペルー・スペイン語 (8人) | 指導者1人 補助者2人 | 【さつまいも苗付け体験】 地元の農業支援の方の指導のもとさつまいも苗付け体験した。作業を通して、地域の方と日本語でのコミュニケーションを図った。 |
| 3 | 6月15日 9:00~12:00 | 3時間 | 13人 | ブラジル・ポルトガル語 (6人) ペルー・スペイン語 (7人) | 指導者1人 補助者2人 | 【そば打ち体験】 地元の支援グループの方の指導のもと、そば打ち体験を行なった。そば打ちに使う道具や手順などを日本語で学び、そば打ちを通して、地域の方との交流を図った。 |
| 4 | 7月4日 9:00~10:00 | 1時間 | 163人 | ブラジル・ポルトガル語 (120人) ペルー・スペイン語 (42人) パラグアイ・スペイン語 (1人) | 指導者2人 補助者2人 | 【避難訓練】 地域の避難場所まで集団避難の訓練を行なった。その際、公道を歩く時の指示の日本語を学習し、指 |

| | | | | | | |
|---|---------------------------|-----|-----|--|----------------|---|
| | | | | | | 示に従えるよう訓練した。 |
| 5 | 7月14日 13:30 ~ 15:30 | 2時間 | 91人 | ブラジル・ポルトガル語 (80人) ペルー・スペイン語(11人) | 指導者1人 補助者2人 | 【交通安全教室】 地域の警察の方の指導で、正しい歩道の歩き方、横断歩道の渡り方を学習した。指導を通して、日本での交通規則を身につけた。 |
| 6 | 7月15日 14:00~16:00 | 2時間 | 32人 | ブラジル・ポルトガル語 (43人) ペルー・スペイン語(29人) | 指導者1人 補助者2人 | 【薬物講習会】 麻薬の危険性や害について、学んだ。また、日本社会のルールについても学び、日本社会への理解を深めた。 |
| 7 | 7月27日 9:00~11:00 | 2時間 | 21人 | ブラジル・ポルトガル語 (13人) ペルー・スペイン語(8人) | 指導者1人 補助者2人 | 【草取り】 地域の方と共同作業を行いながら、日本語で交流をした。 |
| 8 | 7月29日 10:30 ~ 11:30 | 1時間 | 7人 | ブラジル・ポルトガル語 (3人) ペルー・スペイン語(1人) パラグアイ・スペイン語 (1人) インド(2人) | 指導者1人 | 【ひらがな・カタカナクラス】 50音の読み指導、一筆でかける文字6字書き指導を行った。 |
| 9 | 8月5日 10:30 ~ 11:30 | 1時間 | 4人 | ブラジル・ポルトガル語 (1人) ペルー・スペイン語(2人) パラグアイ・スペイン語 | 指導者1人 | 【ひらがな・カタカナクラス】 50音の読み指導(清音)、書き指導を行った。 |

| | | | | | | |
|----|---------------------------|-----|----------|---|----------------|---|
| | | | | (1人) | | |
| 10 | 8月8日 14:50~15: 50 | 1時間 | 155 人 | ブラジル・ポルトガル語 (110人) ペルー・スペイン語(45 人) | 指導者2人 補助者2人 | 【避難訓練】 地震発生時の初期対応について理解し、対応できるように訓練を行なった。 |
| 11 | 8月10日 15:00 ~ 16:00 | 1時間 | 20人 | ブラジル・ポルトガル語 (8人) ペルー・スペイン語(12 人) | 指導者1人 補助者2人 | 【消火訓練】 消火器の使い方を学ぶと共に、火災発生時の対応の仕方を学んだ。さらに日本語での指示の表現や避難誘導の仕方を学んだ。 |
| 12 | 8月12日 10:30 ~ 11:30 | 1時間 | 3人 | ブラジル・ポルトガル語 (1人) ペルー・スペイン語(2 人) | 指導者1人 | 【ひらがな・カタカナクラス】 50音の読み指導(濁音、半濁音)、左右のパーツに分ける文字6字書き指導を行った。 |
| 13 | 8月19日 10:30 ~ 11:30 | 1時間 | 4人 | ブラジル・ポルトガル語 (1人) ペルー・スペイン語(2 人) パラグアイ・スペイン語 (1人) | 指導者1人 | 【ひらがな・カタカナクラス】 50音の読み指導(長音)、筆順を注意する文字・空白を意識して各文字6字書き指導を行った。 |
| 14 | 8月24日 13:00~15: 00 | 2時間 | 20人 | ブラジル・ポルトガル語 (9人) ペルー・スペイン語(11 人) | 指導者1人 補助者2人 | 【ミニモザイカルチャー作り】 ミニモザイカルチャー作りのお |

| | | | | | | |
|----|---------------------------|-----|-----|---|------------------|--|
| | | | | | | 手伝いをして、地域の方と交流を深めた。 |
| 15 | 8月26日 10:30 ~ 11:30 | 1時間 | 3人 | ペルー・スペイン語 (1人) インド (2人) | 指導者 1人 | 【ひらがな・カタカナクラス】 50音の読み指導(促音、発音)、途中で結ぶ文字・中心に向かい弧をかく文字 6字書き指導を行った。 |
| 16 | 8月26日 13:00 ~ 15:00 | 2時間 | 20人 | ブラジル・ポルトガル語 (9人) ペルー・スペイン語 (11人) | 指導者 1人 補助者 2人 | 【ミニモザイカルチャー作り】 ミニモザイカルチャー作りのお手伝いをして、地域の方と交流を深めた。 |
| 17 | 8月29日 13:00 ~ 15:00 | 2時間 | 20名 | ブラジル・ポルトガル語 (12人) ペルー・スペイン語 (7人) パラグアイ・スペイン語 (1人) | 補助者 3人 | 【大学生との交流会】 大学生と日本語で交流した。 |
| 18 | 9月1日 9:00~10:00 | 1時間 | 3人 | インド(3人) | 指導者 1人 | 【初級日本語】 職場での人間関係を円滑にするため、挨拶表現、自己紹介の仕方などを練習した。最後にロールプレイを行い、コミュニケーション能力を高めた。 |
| 19 | 9月2日 10:30 ~ | 1時間 | 4人 | パラグアイ・スペイン語 (1人) | 指導者 1人 | 【ひらがな・カタカナクラス】 |

| | | | | | | |
|----|---------------------------|-----|----|---|-------|--|
| | 11:30 | | | インド(2人) ブラジル・ポルトガル語 (1人) | | 50音の読み指導 (促音、発音)、書 き指導を行った。 |
| 20 | 9月2日 10:00 ~ 11:00 | 1時間 | 2人 | インド(2人) | 指導者1人 | 【サバイバル漢 字】 日常生活に必要な 漢字の意味を 母語で学習した。 |
| 21 | 9月8日 9:00~10:00 | 1時間 | 3人 | インド(3人) | 指導者1名 | 【初級日本語】 職場での人間関 係を円滑にする ため、挨拶表現、 自己紹介の仕方 などを練習。 最後にロールプ レイを行い、コミ ュニケーション 能力を高めた。 |
| 22 | 9月9日 10:30 ~ 11:30 | 1時間 | 4人 | ペルー・スペイン語(1 人) パラグアイ・スペイン語 (1人) インド(2人) | 指導者1名 | 【ひらがな・カタ カナクラス】 ひらがなか書き 指導、カタカナ 50音の読み指導 (清音)を行った。 自分の名前を探 した。 |
| 23 | 9月9日 10:00 ~ 11:00 | 1時間 | 1人 | インド(1人) | 指導者1人 | 【サバイバル漢 字】 日常生活に必要な 漢字の意味を 母語で学習した。 |
| 24 | 9月15日 10:00 ~ 11:00 | 1時間 | 3人 | インド(3人) | 指導者1名 | 【初級日本語】 日常生活で使用 する名詞・動詞を 導入し、動詞のテ ンスを練習した。 |

| | | | | | | |
|----|---------------------------|-----|-----|---|----------------|--|
| 25 | 9月16日 10:00 ~ 11:00 | 1時間 | 3人 | インド(2人) インドネシア・インドネ シア語(1人) | 指導者1人 | 【サバイバル漢 字】 日常生活に必要な漢字の意味を 母語で学習した。 |
| 26 | 9月16日 13:00~15: 00 | 2時間 | 84人 | ブラジル・ポルトガル語 (54人) ペルー・スペイン語(30 人) | 指導者1人 補助者2人 | 【交通安全教室】 警察の方の指導 の下、自転車の乗 り方、交通ルール について日本語 で学び、交通規則 についての知識 を得た。また、標 識の意味も学び、 日本語の標識が 読めるように練 習した。 |
| 27 | 9月16日 10:30 ~ 11:30 | 1時間 | 4人 | ペルー・スペイン語(1 人) パラグアイ・スペイン語 (1人) インド(2人) | 指導者1人 | 【ひらがな・カタ カナクラス】 カタカナ50音の 読み指導を行っ た。 自分の名前や国 が見分けられる ように読み練習 に取り組んだ。ま た、名前を書く練 習も行なった。 |
| 28 | 9月29日 13:00 ~ 15:00 | 2時間 | 30人 | ペルー・スペイン語(20 人) ブラジル・ポルトガル語 (10人) | 指導者1人 補助者2人 | 【モザカルチャ ー作り】 ミニモザイカル チャー作りのお 手伝いをして、地 域の方と交流を 深めた。 |
| 29 | 9月30日 | 1時間 | 3人 | ペルー・スペイン語(1 | 指導者1人 | 【ひらがな・カタ |

| | | | | | | |
|----|---------------------------|-----|----------|--|----------------|---|
| | 10:30 ~ 11:30 | | | 人) パラグアイ・スペイン語 (1人) インド・(1人) | | 【カナクラス】 自分の名前や国 が書けるように 指導した。 |
| 30 | 9月30日 10:00 ~ 11:00 | 1時間 | 3人 | インド(1人) インドネシア・インドネ シア語(2人) | 指導者1人 | 【サバイバル漢 字】 日常生活に必要な 漢字の意味を 母語で学習した。 |
| 31 | 9月30日 15:00 ~ 16:00 | 1時間 | 148 人 | ブラジル・ポルトガル語 (103人) ペルー・スペイン語(41 人) パラグアイ・スペイン語 (1人) インド(2人) アメリカ・英語(1人) | 指導者2人 補助者2人 | 【避難訓練】 地震発生時の初 期対応を実践し た。訓練は全て日 本語で行い、学校 以外の場所で地 震が発生しても 対応できるよう 知識を深めた。 |
| 32 | 10月4日 13:30~15: 30 | 2時間 | 17人 | ブラジル・ポルトガル語 (6人) ペルー・スペイン語(11 人) | 指導者1人 補助者2人 | 【モザイカルチ ャー作り】 ミニモザイカル チャー作りのお 手伝いをして、地 域の方と交流を 深めた。 |
| 33 | 10月6日 13:00 ~ 14:00 | 1時間 | 8人 | ブラジル・ポルトガル語 (1人) ペルー・スペイン語(3 人) パラグアイ・スペイン語 (1人) インド(2人) インドネシア・インドネ シア語(1人) | 指導者1人 | 【生活漢字】 母語による漢字 の意味が定着後、 読み方、書き方を 指導し、その漢字 を使った言葉を 学習した。 |
| 34 | 10月7日 13:00 ~ | 1時間 | 8人 | ブラジル・ポルトガル語 (1人) | 指導者1人 | 【生活日本語】 日常的な挨拶を |

| | | | | | | |
|----|----------------------------|-----|-----|--|----------------|--|
| | 14:00 | | | ペルー・スペイン語(3人) パラグアイ・スペイン語(1人) インド(2人) インドネシア・インドネシア語(1人) | | 練習し、生活に必要な動詞や物の名前を覚え、短い会話練習を行なった。 |
| 35 | 10月13日 13:00 ~ 14:00 | 1時間 | 8人 | ブラジル・ポルトガル語(1人) ペルー・スペイン語(3人) パラグアイ・スペイン語(1人) インド(2人) インドネシア・インドネシア語(1人) | 指導者1人 | 【生活漢字】 母語による漢字の意味が定着後、読み方、書き方を指導し、その漢字を使った言葉を学習した。 |
| 36 | 10月14日 13:00 ~ 14:00 | 1時間 | 8人 | ブラジル・ポルトガル語(1人) ペルー・スペイン語(3人) パラグアイ・スペイン語(1人) インド(2人) インドネシア・インドネシア語(1人) | 指導者1人 | 【生活日本語】 コミュニケーションを円滑に行えるようになるための表現を学んだ。 日常的な挨拶を練習し、生活に必要な動詞や物の名前を覚え、短い会話練習に取り組んだ。 |
| 37 | 10月14日 10:00 ~ 12:00 | 2時間 | 83人 | ブラジル・ポルトガル語(70人) ペルー・スペイン語(13人) | 指導者1人 補助者2人 | 【税金講習会】 税金と自分たちとの生活との関係について学び、日本社会の知識を得た。 |
| 38 | 10月17日 13:00~15: | 2時間 | 15人 | ペルー・スペイン語(15人) | 指導者1人 補助者2人 | 【モザイカルチャー作り】 |

| | | | | | | |
|----|----------------------------|-----|-----|--|----------------|--|
| | 00 | | | | | ミニモザイカル チャー作りのお 手伝いをして、地 域の方と交流を 深めた。 |
| 39 | 10月20日 13:00 ~ 14:00 | 1時間 | 7人 | ブラジル・ポルトガル語 (1人) ペルー・スペイン語(3 人) パラグアイ・スペイン語 (1人) インド(1人) インドネシア・インドネ シア語(1人) | 指導者1人 | 【生活漢字】 母語による漢字 の意味が定着後、 読み方、書き方を 指導し、その漢字 を使った言葉を 学習した。 |
| 40 | 10月21日 13:00 ~ 14:00 | 1時間 | 7人 | ブラジル・ポルトガル語 (1人) ペルー・スペイン語(3 人) パラグアイ・スペイン語 (1人) インド(1人) インドネシア・インドネ シア語(1人) | 指導者1人 | 【生活日本語】 コミュニケーションを円滑に行 えるようになる ための表現を学 んだ。 日常的な挨拶を 練習し、生活に必 要な動詞や物の 名前を覚え、短い 会話練習に取り 組んだ。 |
| 41 | 10月27日 9:30~12:30 | 3時間 | 22人 | ブラジル・ポルトガル語 (13人) ペルー・スペイン語(9 人) | 指導者1人 補助者2人 | 【芋掘り体験】 支援グループの 方の指導に従い、 芋掘りの作業を 行なった。作業を 通して、畑の道具 の名前や動詞を 覚え、支援グルー プの方とより円 滑なコミュニケ |

| | | | | | | |
|----|----------------------------|-----|------|--|----------------|--|
| | | | | | | ーションがとれるよう練習した。 |
| 42 | 10月27日 13:00 ~ 14:00 | 1時間 | 8人 | ブラジル・ポルトガル語 (1人) ペルー・スペイン語(3人) パラグアイ・スペイン語 (1人) インド(2人) インドネシア・インドネ シア語(1人) | 指導者1人 | 【生活漢字】 母語による漢字の意味が定着後、読み方、書き方を指導し、その漢字を使った言葉を学習した。 |
| 43 | 10月28日 13:00 ~ 14:00 | 1時間 | 8人 | ブラジル・ポルトガル語 (1人) ペルー・スペイン語(3人) パラグアイ・スペイン語 (1人) インド(2人) インドネシア・インドネ シア語(1人) | 指導者1人 | 【生活日本語】 コミュニケーションを円滑に行えるようになるための表現を学ぶ。 レストランでの注文の仕方・支払いの仕方を学習した。 |
| 44 | 10月28日 13:00~14:00 | 1時間 | 180人 | ブラジル・ポルトガル語 (128人) ペルー・スペイン語(46人) パラグアイ・スペイン語 (1人) インド(4人) アメリカ・英語(1人) | 指導者2人 補助者2人 | 【避難訓練】 避難の際の注意事項、「お」「は」「し」「も」について学び、各自自分の安全を守る知識を身に付けた。また中学生以上は、避難指示を聞くだけでなく自らも避難誘導ができるよう練習した。 |
| 45 | 11月3日 9:00~12:00 | 3時間 | 16人 | ペルー・スペイン語(16人) | 指導者1人 補助者2人 | 【料理教室】 芋ほりで掘った |

| | | | | | | |
|----|---------------------------|-----|----|--|-------|---|
| | | | | | | さつまいもを使い、料理教室を開催。料理に必要な道具や材料の日本語名を学習した。日本語で書かれたレシピを見て、語彙・料理の手順を勉強、その後みんなで料理をし、調理後、食事をしながら日本語で交流した。 |
| 46 | 11月3日 13:00 ~ 14:00 | 1時間 | 8人 | ブラジル・ポルトガル語 (1人) ペルー・スペイン語(3人) パラグアイ・スペイン語 (1人) インド(2人) インドネシア・インドネシア語(1人) | 指導者1人 | 【生活漢字】 母語による漢字の意味が定着後、読み方、書き方を指導し、その漢字を使った言葉を学習した。 |
| 47 | 11月4日 13:00 ~ 14:00 | 1時間 | 8人 | ブラジル・ポルトガル語 (1人) ペルー・スペイン語(3人) パラグアイ・スペイン語 (1人) インド(2人) インドネシア・インドネシア語(1人) | 指導者1人 | 【生活日本語】 コミュニケーションを円滑に行えるようになるための表現を学んだ。 体の部位や病気に関する表現、病院へ行った時、症状の伝え方を学び、最後に短い会話練習に取り組んだ。 |
| 48 | 11月10日 | 1時間 | 8人 | ブラジル・ポルトガル語 | 指導者1人 | 【生活漢字】 |

| | | | | | | |
|----|----------------------------|-----|-----|--|----------------|---|
| | 13:00 ~ 14:00 | | | (1人) ペルー・スペイン語(3人) パラグアイ・スペイン語(1人) インド(2人) インドネシア・インドネシア語(1人) | | 母語による漢字の意味が定着後、読み方、書き方を指導し、その漢字を使った言葉を学習した。 |
| 49 | 11月11日 13:00 ~ 14:00 | 1時間 | 8人 | ブラジル・ポルトガル語(1人) ペルー・スペイン語(3人) パラグアイ・スペイン語(1人) インド(2人) インドネシア・インドネシア語(1人) | 指導者1人 | 【生活日本語】 コミュニケーションを円滑に行えるようになるための表現を学ぶ。 依頼表現を学び、場面により、表現が変わることを学んだ。最後に短い会話練習に取り組んだ。 |
| 50 | 11月16日 13:00 ~ 16:00 | 3時間 | 18人 | ブラジル・ポルトガル語(9人) ペルー・スペイン語(9人) | 指導者1人 補助者2人 | 【玉ねぎの苗付け】 地域と方との共同作業を通し、仕事をする上でのマナーや日本社会の習慣を身につけるよう指導した。 |
| 51 | 11月17日 13:00 ~ 14:00 | 1時間 | 8人 | ブラジル・ポルトガル語(1人) ペルー・スペイン語(3人) パラグアイ・スペイン語(1人) インド(2人) | 指導者1人 | 【生活漢字】 日常生活の中で見かける漢字の意味を理解した。 |

| | | | | | | |
|----|----------------------------|-----|-----|--|----------------|--|
| | | | | インドネシア・インドネシア語(1人) | | |
| 52 | 11月18日 13:00 ~ 14:00 | 1時間 | 8人 | ブラジル・ポルトガル語(1人) ペルー・スペイン語(3人) パラグアイ・スペイン語(1人) インド(2人) インドネシア・インドネシア語(1人) | 指導者1人 | 【生活日本語】 コミュニケーションを円滑に行えるようになるための表現を学んだ。 形容詞を学び、感想を述べる練習に取り組んだ。 |
| 53 | 11月19日 9:00~11:00 | 2時間 | 8人 | ブラジル・ポルトガル語(1人) ペルー・スペイン語(3人) パラグアイ・スペイン語(1人) インド(2人) インドネシア・インドネシア語(1人) | 指導者1人 | 【生活日本語】 コミュニケーションを円滑に行えるようになるための表現を学んだ。 手に入れたいものやしたいことを伝える文法を学び、短い会話練習に取り組んだ。 |
| 54 | 11月20日 11:00 ~ 13:00 | 2時間 | 10人 | ブラジル・ポルトガル語(4人) ペルー・スペイン語(3人) インド(3人) | 指導者1人 補助者1人 | 【着物着付け体験】 着物や小物の名前を覚え、実際に着付けを体験し、着物を着た時のマナーを学んだ。 |
| 55 | 11月20日 11:00 ~ 13:00 | 2時間 | 23人 | ブラジル・ポルトガル語(7人) ペルー・スペイン語(9人) インド(5人) アメリカ・英語(2人) | 指導者1人 補助者1人 | 【書道体験】 書道道具の名前を覚え、使い方を学んだ。実際に書道を体験し、作品を仕上げた。 |
| 56 | 11月24日 | 1時間 | 8人 | ブラジル・ポルトガル語 | 指導者1人 | 【生活漢字】 |

| | | | | | | |
|----|----------------------------|-----|------|--|----------------|---|
| | 13:00 ~ 14:00 | | | (1人) ペルー・スペイン語(3人) パラグアイ・スペイン語(1人) インド(2人) インドネシア・インドネシア語(1人) | | 母語による漢字を意味導入した。意味が定着後、読み方、書き方を指導し、その漢字を使った言葉を学習した。 |
| 57 | 11月25日 13:00 ~ 14:00 | 1時間 | 8人 | ブラジル・ポルトガル語(1人) ペルー・スペイン語(3人) パラグアイ・スペイン語(1人) インド(2人) インドネシア・インドネシア語(1人) | 指導者1人 | 【生活日本語】 コミュニケーションを円滑に行えるようになるための表現を学んだ。許可を得る表現を覚え、短い会話練習に取り組んだ。 |
| 58 | 11月28日 14:50 ~ 15:50 | 1時間 | 161人 | ブラジル・ポルトガル語(119人) ペルー・スペイン語(41人) パラグアイ・スペイン語(1人) | 指導者2人 補助者2人 | 【避難訓練】 避難放送の日本語を学び、実際の指示に従って避難。地震発生時に注意しなければならないことを理解し、実践した。 |
| 59 | 12月1日 13:00 ~ 14:00 | 1時間 | 8人 | ブラジル・ポルトガル語(1人) ペルー・スペイン語(3人) パラグアイ・スペイン語(1人) インド(2人) インドネシア・インドネシア語(1人) | 指導者1人 | 【生活漢字】 生活の中で見かける漢字の意味を理解した。 母語で漢字の意味を理解し、その上で読み方、書き方の指導を行った。 |
| 60 | 12月2日 13:00 ~ | 1時間 | 16人 | ブラジル・ポルトガル語(6人) | 指導者1人 | 【日本語ブラッシュアップ】 |

| | | | | | | |
|----|---|-----|-----|---|------------------|---|
| | 14:00 | | | ペルー・スペイン語 (6人) パラグアイ・スペイン語 (1人) インド (2人) インドネシア・インドネシア語 (1人) | | 初級日本語・生活日本語受講者の希望により、日本語能力試験N4、N5レベルの直前対策講座を実施した。 |
| 61 | 12月3日 9:00~12:00 13:00 ~ 14:00 | 4時間 | 16人 | ブラジル・ポルトガル語 (6人) ペルー・スペイン語 (6人) パラグアイ・スペイン語 (1人) インド (2人) インドネシア・インドネシア語 (1人) | 指導者 2人 | 【日本語ブラッシュアップ】 初級日本語・生活日本語受講者の希望により、日本語能力試験N4、N5レベルの直前対策講座を実施した。 |
| 62 | 平成24年 1月6日 13:00 ~ 15:00 | 2時間 | 16人 | ペルー・スペイン語 (10人) ブラジル・ポルトガル語 (5人) パラグアイ・スペイン語 (1人) | 指導者 1人 補助者 2人 | 【料理交流会】 ペルー料理作りを通して、文化交流を図った。 |

⑨ 特徴的な授業風景(2~3回分)



(料理で交流)



(書道体験)



(ひらがな・カタカナクラス)

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

地域交流・文化交流・講習会・日本語学習と共生のために必要な様々な講座を開講することができた。今年度は地域交流においては、地域住民の方が外国人を支援していただく活動だけでなく、外国人が地域住民のお手伝いをしながら、共同作業できる時間を持つことができた。支援という枠を超えて、外国人が地域のお手伝いをする社会参加に繋がる時間を提供できた。また、日本語学習においてもペルー・ブラジルの日系人だけでなく、インドやインドネシアの企業研修生の受講もあり、様々な国籍の人に日本語教室を提供することができ、当初の学習目標を十分達成することができた。

② 学習者の習得状況

日本語学習講座を受講した学習者は日本語学習のモチベーションが高く、特に今年度はインドやインドネシアの企業研修生の受講もあり、会話はもちろん、ひらがな・漢字学習にも非常に意欲的に取り組むことができた。職場内での円滑なコミュニケーションを図るために企画した場面設定でのロールプレイ式会話練習にも積極的に参加している姿が見られた。

③ 日本語教室設置運営の効果、成果

浜松のような外国人集住都市においては、とすればコミュニティからなかなか外に出て、地域社会の一員になるという意識を持つことが難しい。多文化共生は日本人・外国人双方が理解しあう必要がある。そんな中、外国籍児童の教育を担う外国人学校が拠点となり、様々な文化交流・地域交流を計画・実施し、積極的に地域住民と交流を持ち活動を共にする。そして、外国人の日本語能力向上のための日本語学習講座を積極的に開催することは外国人学校自体が外国人と地域住民とを繋げるパイプの役割を果たすことができ、多文化共生を促すには非常に効果的である。

④ 地域の関係者との連携による効果、成果等

地域関係者とは様々な交流活動を計画・実行する中、連携が取れるようになってきており、地域住民とも相互に活動を行えるようなネットワークが少しずつできてきている。着物着付け体験教室・書道体験教室では外国人学習支援センターの協力の下開催し、多くの地域在住外国人の参加があった。また、様々な交流活動において知り合うことができた地域住民に声をかけ、地域住民によるボランティアグループ発足を計画している。そして、本校においてボランティアグループのメンバーを中心に定期的に外国人と交流できる機会を創出するべく企画中である。この交流活動により相互理解すると共に、在住外国人がより自然な形で日本語習得ができる機会を提供する。

⑤ 改善点、今後の課題について

a. 現状

浜松在住の外国人、特に日系人はまだまだ日本語が話せない、読み書きできない人が多い。一方、日本語学習意欲の高い人も少なくない。特に中国人・フィリピン人の主婦またはインド・インドネシアの企業研修生及びその家族は日本語の学習には非常に積極的である。彼らは地域で多く開催されている初級日本語教室を受講後もさらに日本語運用能力を伸ばしたい、日本語能力試験を受験したいとの強い希望があっても、学習できる教室がほとんどないのが現状である。

b. 今後の課題

上記の現状を踏まえ、生活者としての外国人との共生を目指すためには引き続き、地域社会に参加できるような交流活動を行いながら、日常生活に必要な会話教室、そしてひらがな・漢字の識字教室は今後も地道に継続していくことが必要である。それと平行して、今後は将来日本社会に貢献できるリーダー的存在になり得る学習意欲のある学習者のニーズに応え、日本語能力試験などに対応した高い日本語運用能力が学べる教室の開講も必要である。

c. 今後の活動予定, 展望

上記課題解決のためには、

- ① 交流活動・日常会話や識字の教室
- ② 日本語能力試験などに対応した高い日本語運用能力が学べる教室も設置運営を両立していくことが必要である。

①に関してはこれまで交流活動において築き上げてきたネットワークを用い、日本語教室を現場へ繋げる。つまり、日本語教室の中で架空の場面設定を行い会話練習をするのではなく、実際の現場で会話練習を行えるような教室から外に出る日本語教室の提供を考えている。このような活動が実現すれば現場の日本人と交流しながら、場面シラバスの会話活動がより実践的に学習でき、学習者にとってはより日本語学習効果が上がる。

また、②に関しては日本語能力試験合格という目標を設定することでさらに学習者のモチベーションを上げ、将来は社会のリーダーとして社会に貢献できる人材の育成も可能となる。